

令和 6 年度第 2 回西区区政会議 議事録

(澤田事業調整担当課長)

定刻になりましたので、ただいまから令和 6 年度第 2 回西区区政会議を開催いたします。

私は、進行を担当させていただきます、西区役所事業調整担当課長の澤田です。

よろしくお願いいたします。

失礼して、着座させていただきます。

それではまず、本日の出席状況でございます。

山東委員、木下委員、藤枝委員、大林委員、秦委員、鶴原委員の 6 名の委員の方から、所用により欠席される旨ご連絡をいただいております。

なお、まだお着きでない委員もいらっしゃいますが、現在、定数 25 人の 2 分の 1 以上が出席されていることから、本会は成立していることを申し上げます。

議事に入ります前にお願いがございます。

区政会議は公開が原則となっております。

議事録作成のため、録音をさせていただきます。

また、記録用として、職員がカメラ撮影を行います。

また、今回も区政会議の運営に当たりまして、大阪公立大学の皆さんにご協力いただいております。

各テーブルで後程、グループ討議のご意見を発表していただく他、前回に引き続き、学部生も地域活動に関わる研究の一環として、皆様の話し合いに参加させていただきますので、ご了承ください。

なお、大阪公立大学の皆さんは、西区内の 3 地域の盆踊り会場などで、地域活動に関するアンケート調査等を実施されています。研究結果をまとめて、次の区政会議で発表していただく予定にしておりますので、ご期待ください。

それでは、開会にあたりまして三村区長からご挨拶申し上げます。

(三村区長)

皆さんこんばんは。

区長の三村です。

本日はお忙しいところ、また夜遅くに第 2 回の区政会議にご参加いただきまして本当にありがとうございます。

また皆様には区政会議を通して、区政推進に多大なるご理解とご協力をいただいておりますこと、本当にありがとうございます。

第 1 回の区政会議が 6 月 27 日でしたので、4 ヶ月ちょっと、ということでこの第 2 回区政会議、ということになります。この間区役所としてもいろんなイベントに携わり実施して参りました。

10月5日・6日の「にしくバル」の開催を皮切りに、「えほんピクニック」や「ガレージセール」、それから「西区長と歩こう会」、先週は区民まつりということで実施して参りました。にしくバルについては、ほぼ1年弱ぐらいの間、何度も何度も様々な場でお伝えし、ぜひお越しくださいとお伝えし開催させてもらったわけですが、来場者が3万人に迫るということで西区最大の野外イベントという形で、無事終えることができました。

皆様方のご協力、本当にありがとうございました。

またその間、10月27日には衆議院選挙もございました。これは国政、政局にも繋がるような大事な選挙でしたが、投票だけではなく投票所の運営や管理にご協力をいただいたこと、本当にありがとうございました。

前回の区政会議では広報について様々にご意見をいただきましたが、いただいたご意見について、区役所としても様々に取り組んで参りました。

詳細は後程澤田課長から詳しくご説明させていただきますが、まずお手元の資料をご確認ください。中でもホームページが非常に見にくいというお話をいただいておりますので、ホームページ、スマホを中心としてですが、トップ画面の改良を行いました。少しでも見やすくなるようにということで変えたものです。今年度中に、コンサルのアドバイスも得ながらさらに改良していく計画です。

それから皆様方に見ていただいているかどうか、SNSの発信も非常に強化しております。リール動画中心の発信にて頻度もほぼ毎日ぐらい上げていこうということで、今やっております。

その効果もあってインスタグラムについては3月末にフォロワーが40人ぐらいだったところ、つい先日500人を超えたということで、そのことを投稿で上げさせていただいたのですが、見ていただいた方いらっしゃいますか。ありがとうございます。

皆さんきっと恥ずかしくて手を上げられなかったのでは、と思うのですが、とにかく地域活動と我々区役所の活動、また地域と区役所の連携ですね、イベントに楽しいので参加してくださいというようなイメージが伝わるような、そういった動画になるように工夫しております。ぜひ皆さんもご覧いただきたいと思います。

実はお渡しした書類の中にこのQRコード表をお入れしています。ここから入っていただいでぜひ登録していただければと思います。お配りしたこの不織布のバック、これは各イベントでSNS登録してくれた方にお配りしているので、ぜひご登録もあわせてしていただければと思います。

内容を見ていただいて、またいろんなご意見、ご要望をお伝えいただけたら非常にありがたいなと思っております。よろしくお願いいたします。

それから、本日の区政会議ですが、来年度の予算等について皆様方からのご意見を頂戴する場になっております。予算ということはすなわち、区役所の活動をどういうふうにしていくのか、ということにも直接繋がります。ですので、皆様方のご意見を参考にこの予算・活動を決めていきたいと思っております。

私も2年半前に区長に就任し、任期が4年ですので今回決まる予算というのが、私の最終年度の活動を決める予算と、こういうことになります。2年半いろんなこと取り組んで参りましたが、来年度が私の最後の仕上げの年度ということになります。この年度の活動を、皆さんのご意見、活動についてご意見を頂戴したいと、こういう場になりますのでよろしくお願い致します。活発にご議論をいただけますことをぜひよろしくお願い致します。

以上私からの開会のご挨拶とさせていただきます。よろしくお願い致します。ありがとうございました。

（澤田事業調整担当課長）

それでは本日の配付資料を確認させていただきます。

お手元ご確認ください。

まず、表紙に会議次第、その次に資料1-1として区政会議委員のアンケートの集計結果、その次に資料1-2が区役所の情報発信、第1回区政会議で頂戴した主なご意見と今後の取り組み、資料1-3が令和6年度第2回区政会議の実施に際し事前にいただいたご意見への回答です。

資料2がグループ検討用資料ということで、グループごとに資料を用意させていただいております。

最後に資料3は令和6年度の第1回教育会議に係る資料です。

以上そろっておりますでしょうか。

もし何か足りない資料がございましたら、挙手なりでお伝えいただけたらと思います。

よろしいでしょうか。もし途中でお気づきの場合は、区役所職員にお伝えいただけたらと思いますので、よろしくお願い致します。

それではここから川野議長に進行をお願いいたします。

（川野議長）

はい、それでは早速お手元の次第に沿って進めて参りたいと思います。午後9時をめぐりに進めて参りたいと考えておりますので皆様のご協力をお願いいたします。

まず次第の3番目区政会議に関わる報告で3点ございます。

最初に令和5年度区政会議委員アンケート集計結果について区役所から報告をお願いします。

（澤田事業調整担当課長）

それではお手元の資料1-1をご覧くださいませでしょうか。

6月の第1回区政会議の後にご回答いただきました、区政会議委員アンケートの集計結果について報告いたします。

黒く着色した部分に質問内容を記載しております。ちょっと見づらいかもしれません。申し訳ありません。

1番目が西区区政会議は、現在、区役所や委員との間で活発な意見交換がなされていると思いますか」という質問につきまして、思う、やや思うと、肯定的に回答いただいた方の割合

が94.5%と高い評価をいただきました。

2 つ目の質問、「西区区政会議において、意見や要望、評価について、適切にフィードバックが行われていると思いますか」という質問については、思う、やや思うと、肯定的に回答いただいた方の割合は 83.3%でした。概ね高い評価をいただきましたが、より改善できる点がないか検討して参ります。

3 点目の質問は、グループ討議についてメンバーを入れ替えて、広報という 1 つのテーマで討議したことについてご意見をいただきました。「いろんなメンバーと意見交換ができてよかった」、「同じテーマだと、たくさんの意見が上がり、課題の解決を進めるのに良いと思う」等、好意的なご意見をいただきました。今後もこういった議論が活発になる仕組みを考えていきたいと思います。裏面をご覧くださいませでしょうか。

4 番目の質問ですが、大阪公立大学の皆さんがグループ討議に参加した点についてご意見をいただきました。「若い世代の意見が聞けた」、「グループの意見をきちんとまとめてもらった」と好意的なご意見をいただきました。今回も学生の皆さんにはご参加いただいておりますので、いろいろお話し合いいただければと思います。

最後に自由意見として、「発表内容が聞き取りづらかった」、「もう少し人数を減らしてグループ討議をした方がいいのではないか」等、会議の運営に関するご意見をいただきました。こちらでも何か改善策がないか考えて参ります。様々なご意見ありがとうございました。今後とも、会議運営の改善に努めて参ります。

資料 1-1 については以上でございます。

(川野議長)

ただいまの報告についてご質問などございますでしょうか。

はいでは引き続き区役所の情報発信に関わる区政会議委員意見への対応について、区役所から報告をお願いします。

(澤田事業調整担当課長)

では次に、資料 1-2 をご覧くださいませでしょうか。

資料 1-2 ですね、A4 1 枚ものの資料と、そのあとに、横長の A3 サイズの資料が何枚かホチキス止めしてございます。

本当にたくさんご意見をいただきまして、このご意見につきましてはホチキス留めをした資料に取り上げさせていただいておりますが、時間の都合もございましてこの場におきましては、一番上に置かせていただきました、1 枚ものですね、取りまとめた概要の資料で説明させていただきます。

広報紙、ホームページ、SNS 等ということで 3 つの広報媒体について、それぞれ概要を説明させていただきます。

1 点目の広報紙についてでございます。

広報紙はたくさんの様々な種類の情報を容易に見られる形でお知らせする区役所の最も重要な広報媒体の 1 つです。改善点として配架場所がわからない、配架場所で余っているとい

った、効率的に配布できていないのではないかという趣旨のご意見をいただきました。

今後はSNSなどを活用して、どこで入手できるかについて周知を強化していくとともに、SNSでもデジタル版の広報紙をご覧いただけることを周知して参ります。

また、広報紙は比較的高齢の方からの需要が高いため、これまで配架してこなかった施設等にも配架の協力を依頼して、効率よく情報が発信できるよう改善して参ります。

加えまして、一面記事のデザイン等について、より手に取ってもらいやすい広報紙となるよう工夫して参ります。

2点目、ホームページについてでございます。

ホームページは、広報紙のように紙面に制限がないため、詳細な情報が発信できること、広報紙よりもタイムリーに新しい情報を発信できることが強みの広報媒体です。改善点として、「情報が混在していてわかりづらい」、「欲しい情報にたどり着けない」といった、見づらいという趣旨のご意見をいただきました。今後はトップページの記事量を絞り込み、情報の並べ方なども検討の上、年度末をめどに見やすくなるように改善して参ります。

また、各ページについても随時情報を整理して欲しい情報にたどり着きやすい状態となるよう改善して参ります。

最後にSNS等についてでございます。SNSは事前登録していただいている方にプッシュ型で情報発信できる便利で手軽な広報媒体です。西区役所では、LINE、X、フェイスブック、インスタグラムを活用しています。改善点として、SNSで区政情報を発信していること、そのこと自体の広報をもっと行うべきといった趣旨のご意見をいただきました。ご意見を踏まえて、イベントなど、多くの方が集まる場を活用して、SNS等への登録を呼びかける取り組みを強化しました。その他、インスタグラム等において、盆踊りをはじめ、各地域での様々な活動を動画で公開しています。動画配信にあたっては、訴求力を高めるために区政情報だけではなく地域の皆様の活動を、臨場感を持って見ていただけるよう引き続きショート動画を中心に情報発信して参ります。

資料1-2については以上でございます。

(川野議長)

ただいまの報告についてご質問などございますでしょうか。

では区政会議に関わる報告事項の最後になります。本日の区政会議実施に際して事前に委員から寄せられた意見について、区役所から説明をお願いします。

(澤田事業調整担当課長)

それでは資料1-3をご覧ください。縦長のA3サイズの資料ですが、大丈夫でしょうか。

今回の令和6年度第2回区政会議の実施に際して、事前に頂戴したご意見の一覧及びその回答などでございます。こちらもお時間の関係上、いくつか抽出してご意見と区役所の回答などを報告させていただきます。

資料の一番左端に項番ということで、番号をつけさせていただいているのですが、この項番の4番目をご覧ください。ご意見ですが、「不登校支援の令和6年度の予算69万円は少な

いと感じます。令和 7 年度の予算の増額を期待します。」というご意見です。区役所の見解としましては、令和 6 年度より、教育委員会が花乃井中学校にサポートルームをモデル設置しておりますが、西区役所独自に、地元企業から頂戴したご寄附等を活用して、堀江中学校をモデル校に、校内に不登校、あるいは不登校傾向のある生徒が自由に出入り可能なサポートルームを設置しております。西区役所といたしましては、モデル設置校の拡充などに取り組んで参りたいと考えております。

続いて項目番号 7 番をご覧ください。

ご意見の内容ですが、「ICTを活用した区行政の推進には、西区のホームページ上部にバナー等で大阪市行政オンラインシステムへ誘導して、きっかけさえあればオンラインで手続きしてくれる層をふやし、オンラインでできる手続きでの区役所への来庁を減らす施策が必要かと思う」というものです。区役所の見解ですが、ご指摘を踏まえ、西区ホームページのトップページの大バナーに、行政オンラインシステムの利用促進を図る内容を掲載する予定です。その他、ICTを活用した区行政の推進策として、11 月 1 日から、区役所 1 階住民情報窓口で手数料のキャッシュレス決済端末を導入しました。来年 2 月には、住民票等を発行できる行政キオスク端末を設置予定です。今後も ICT を活用した取り組みを積極的に PR し、来庁回数を減らす、待ち時間を減らす等、より区政の利便性を上げる取り組みを効果的に進めて参ります。

恐縮ですが、時間の関係もございますので、ご紹介できなかったご意見については、後程資料にお目通しいただければと存じます。資料 1-3 については以上でございます。

(川野議長)

ただいまの報告についてご質問などございますでしょうか。それでは続きまして討議を開始したいと思いますけれども議論の進め方については区役所から説明をお願いします。

(澤田事業調整担当課長)

今回のグループ討議につきましては、原則として以前決めさせていただきました 4 つのグループに分かれて、区政の各経営課題の予算と運営方針の策定に関して議論をしていただきます。

議題としては、予算・運営方針と別々に記載しておりますが、この 2 つはそれぞれ関連し合いますので、グループ討議の中では、2 つ合わせて議論をお願いしたいと考えております。議論を行うにあたって、令和 6 年度予算及び運営方針の考え方、現時点の区政取り組み状況、来年度に向けての考えを、資料 2 としてグループごとに作成いたしましたので、ご活用ください。

また、同じ部屋で一斉に議論を始めると、どうしても周囲の声が気にかかると思われますので、お手数ですが、今回は子育て教育グループと、広報・窓口・ICT グループは別の会議室に移動していただき、グループ討議終了後にこちらお戻りいただきます。

区役所職員がご案内いたしますので、子育て教育グループと広報窓口 ICT グループの皆様は、お手元の資料と名札をかけて会議室に移動するよう、ご協力をお願いいたします。

グループ討議は各テーブルの西区役所の職員が司会進行をさせていただきます。
討議時間は 8 時 20 分過ぎまで、おおよそ 50 分程度かと思いますが、予定しております。
また討議終了後、5 分間の時間を頂戴しまして、各テーブルにおいて西区役所の職員が討議の全体的なご意見内容等を確認させていただきます。
その後、大阪公立大学の皆様から、各テーブルでのご意見内容を発表させていただきます。
グループ討議の進行方法について、何か疑問点等ございますでしょうか。
よろしいでしょうか。そうしましたらグループに分かれてグループ討議を始めてください。
お願いします。

－グループ討議－

(川野議長)

それでは皆さんお戻りだと思しますので、これからグループでまとめられたご意見をお聞かせいただければと思います。まずは地域コミュニティグループからお願いします。

(地域コミュニティグループ発表：公立大学学生)

地域コミュニティグループの討議で出た議題と意見についてご紹介させていただきます。
まず令和 6 年度の予算と進捗状況、そして来年度の方針等について区役所からご説明いただいた後にそれらについての意見交換を行いました。

1 つめは、西区全地域合同防災訓練についてです。長谷委員の方からこの取り組み自体とても素晴らしいもので、他区にそのような全地域合同の防災の取り組みはあまり見受けられず、今後も継続して実施していくべき、とのご意見をいただきました。第 2 部のイベントは大規模で盛況でしたが、第 1 部の各地域での訓練は参加者も少なかったのでは、との意見がありました。また、今後の発展についてはどう考えているのか、という意見もありました。区役所からは、今後改善点を踏まえつつ行政と地域がともに協力して、継続実施させていきたいという話がありました。

次に、町会の加入促進についてご意見をいただきました。区役所からは、加入促進は区役所ではなく地域が主体的に取り組むことであり、区役所が積極的に介入することはできない一方、例えば地域が町会のホームページを開設するといった取り組みをしていただくように働きかけているということでした。

続いてマンションコミュニティづくりについてです。町会に加入したマンションへの働きかけについては、入居開始前に町会の説明会等で加入を促すといった取り組みをされているというふうに、ご説明いただきました。

町会加入についてですが、町会に入った後に具体的にどういう活動が待っているのかとか、そういうことが入る前にわからないのが加入を妨げているのではないかというご意見もありました。その改善点として、入って何か町会のいろんなことをやるのではなくて、例えばこういう活動をするので、こういう仕事があるので、やってみませんかみたいな個別の活動

について募集をしたりするとその仕事だけだったら自分は得意だからやってもいいかなといった人が現れるのではないか、そういう感じで今までとは違った働きかけをしていく必要があるのではないか、といったご意見をいただきました。

最後に万博の機運醸成事業についてご意見をいただきました。

にしくバルについて、非常に盛り上がっていたと皆さんおっしゃっていたのですが、もっと地域と関わりが持てるような形にできないかというご意見もありました。

また、他の地域の行事と比べて、子どもの割合がちょっと少なかったように見えたということで、やっぱり世界の食が集まるというテーマがちょっと子ども向けではなかったのでは、というご指摘がありました。もっと子どもが集まれるような内容にしていったら、西区の子育て支援とか、子どもが多いってというような西区の風土に合うのではないか、内容にもできるのではないかというご意見をいただきました。

以上です。

(川野議長)

では次に福祉健康グループからお願いします。

(福祉健康グループ発表：公立大学学生)

続いて福祉健康グループで出た意見について共有させていただきたいと思います。

まず、令和7年度西区運営方針策定についてですが、見守り問題についての意見を共有させていただきます。

大きな議題は、見守り活動について対象者の漏れが発生しないような効率的な手法を考えるということでしたが、町会加入していないワンルームのマンションにお住いの方にはアプローチが難しく見つけにくい状況にあるとの意見がありました。

討議の結論としては、漏れがないように対象者の全てを網羅することは難しいが、問題が沸き上がったタイミングでいかに支援に繋ぐかが重要であり、支援者同士が繋がることで、情報が共有されるしくみになり、支援者側も安心して活動することができるのではないかという意見が出ました。

このほか、見守り活動を町の掲示板を活用して地域ごとの見守り活動の現状などを知っていただくことも有効ではないかとの意見がありました。

交流イベント「そよかぜ」についての意見も出ました。コロナ前には地域の方と障がいのある方が一緒に模擬店の運営をする場面がみられたので、そのような形がまた復活できればイベントをきっかけとして関係が深まるという意見がありました。

続いて、令和7年度西区予算編成についてですが、予算の増減というよりは、今ある予算、既存の予算の中で、どういった運営を行うかのネットワークの仕掛けが重要であるという意見が出ました。

以上です。

(川野議長)

では次に子育て教育グループからお願いします。

(子育て教育グループ発表：公立大学学生)

まず子育て教育グループでは、区役所から安心して子育てできる環境づくりを目指すことを基本方針として動いているとの説明がありました。

課題として、民間事業者を活用した課外学習事業の参加者増加を図ること、新規事業では、不登校支援事業の周知の工夫や学校再編を行う九条東小学校の土地活用について、が挙げられています。

不登校支援については、主に九条東小学校跡地をサポートルームに活用できないか議論を進めました。九条東小学校跡地の活用方法について、現在は積極的な売却は考えておらず、地域のコミュニティ活動の拠点の役割を維持しながら活用方法を模索中とのこと。

例えば災害時の避難所としての利用など、九条東には、地域には公園が少ないこともあるので、そういった利用方法が考えられています。

ただ、小中学校を避難所にする時の問題点については、中学校にはクーラーがついているが、小学校にはないといった問題点もあるので、小学校へのクーラー設置についての具体的な検討をする必要があるというご意見もいただいております。

次に旧堀江中学校の跡地の活用方法についてです。

こちら売却の話はなく、近隣地域で子ども数が多いこともあるので、さらに地域の子どもの数が増加する可能性にも気をつけて、売却はしない方がいいのでは、というご意見もいただいております。

他に、生野区でも学校跡地の活用がされているケースがあり、インターナショナルスクール、スポーツ・料理が体験できる場としての活用例も、挙げられております。

最後に、子どもの居場所づくりについてです。

子どもの居場所づくりに関しては、大人からの目線での環境づくりに焦点が当たっているのではないかというご意見がありました。実際に子どもたちだけで行ける場所として公園や学校はあるのですが、それ以外の場所が少ないのではないかという意見を踏まえ、跡地などの利用も子どもだけで行ける場所として利用する方法もあるのではないかという議論となりました。ただ具体的な居場所づくりについては、今西区では不登校や課題のある家庭の多さなど問題が大きいので、そちらの優先度は現状としては低いというお話でした。

続いて不登校支援のサポートルームについての議論について話していきます。

現在西区では、大阪市のサポートルームとして花乃井中学校に、加えて西区独自のサポートルームが堀江中学校にあります。

西区の中学校では、全国平均、大阪市平均よりも、不登校生徒が多いという現状がありますが、その中でサポートルーム利用者の満足度は高いという声だったり、今後も取り組みを拡大して欲しいという意見が出されました。

サポートルームの具体的な取り組み内容や利用されている人数について質問がありました

が、区役所からは、福祉を専門とする人がサポートルームで担当に当たっており、生徒の悩みだったり話を聞いたりしてサポートしているとの説明がありました。そうした福祉的なアプローチに加え、心理面でもカードゲームをしたりして、対人関係の悩みをほぐしたり、といった取り組みをしているとのことでした。

委員の身の回りだったり、近隣の環境だったり、そういったところの体験談も一緒にお話してもらったのですが、みんなサポートルームの取り組みは「すごくいい」とお話されていて、今後も人員や予算的な面もありますが、拡大していくことに賛成という意見が出ました。

そして、サポートルームは現在不登校の生徒のうち、利用している割合は 10%程度に限られているので、今後はそういった学校に来られない、家から出ることができない生徒についてのサポートが不十分な点もあるので、そこが課題であるとの話になっております。

最後に課外学習事業についての意見も出たのですが、学校で案内はあるのか、ということに対して、年度初めにチラシを配っていて、こちら元は中学生が対象だったんですけれども、所得制限もなくなり、小学生にも対象が広がっているので、その取り組みを今後も続けていくとのことでした。

以上です。

(川野議長)

では次に広報・窓口・ICTグループからお願いします。

(広報・窓口・ICTグループ発表：公立大学学生)

広報・窓口・ICTグループでの議論を発表します。

まず、広報・窓口・ICTグループでは、窓口サービスについての話が出たのですが、窓口でしか対応できない人、窓口以外でも対応できる人を分けるべき、との話が出ました。大阪市の総合コールセンターである「なにわコール」の話が出ました。ある委員がもう何回も試してみたとのことですが、迅速かつハイレベルで営業時間も結構長いということで、かなり議題として大きく上がっていました。

次に情報発信力強化についての話になったのですが、動画についての話が結構出ていて、ショート動画の再生回数が上がっており、クオリティも高いと。そんな中で今、地域活動のPRがメインになっているのですが、その中に何本か見本みたいな感じで、行政の情報、例えば区民サービスや区民の利便性であったり、そういうものをPRするような動画を挟んでいたとしても見てもらうことができるのでは、という話になりました。

行政の他にも、既存の子育ての広場の情報なども、間に挟んで見せていてもいいんじゃないかなという話が出てきました。

もう1つ、SNS等の話があります。Facebookだとかインスタ、ライン、X、これ合わせても、今現在 9000 人程度しかいない。

西区人口 11 万に対してそれぐらい少ないっていうことで、やっぱりここは課題が残っているのでは、という話が出ました。

登録者数を増やすためには、やはり「西区といえばこれ」のような、1つのイメージキャラクターではないのですが、そういった象徴みたいなものが必要なんじゃないか、という話が出ました。その中で、メインとして取り上げられていたのが西区のイメージキャラクター「にっしー」。その「にっしー」をちょっと引退させて、新しいキャラクターを作ってもいいのでは、といった話が出ました。（区役所と）専門学校等とが連携しているってということも踏まえ、そういった方々に協力してもらう、または公募によりオリジナルの案を採用することが良いのでは、という話も出ました。

広報・窓口・ICTグループは以上となります。

（川野議長）

はい、ありがとうございます。

予算はじめ非常にたくさんのご意見をいただきましたけれども、ただいまの各グループからの発表、あるいは本日の会議を通してご質問やご意見などがありましたら、ここでお伺いしたいと思います。ございませんでしょうか。

そうしましたら、今のグループ討議を中心に本日の議題を私の方で整理しようと思います。まず地域コミュニティに関して言うと、西区の全地域で実施した防災訓練の評価は非常に高かったということですね。第1部はちょっと参加者が少なかったとの話がありましたけれども、高い評価が得られたということだと思います。

それから、町会の加入というのがやはりずっと課題になっています。その中でも町会ホームページの開設の支援、というようなことが出ていたり、あとは町会に入るにしても、その活動の内容、どんなことをするのかということがわかりにくいので、入る段階で周知をして、例えば個別の活動についてお願いするため募集をするというような形はどうか、という意見もあったと思います。

それからしくバルについて、非常にたくさんの方が集まりましたが、子どもの参加が少なかったのではというご意見もありました。西区では子どもがたくさん増えている、という状況の中で、その特徴に合わせたようなイベントについても、もう少し検討が必要なのは、ということも今後の課題なのかな、というふうに思います。

次の福祉健康に関してですが、これもまた町会加入が課題でありました。要するに見守りの活動に関してのマンパワーとか、リソースの問題がありますので、対象を町会加入者に限定せざるをえないという現状というものがある、とのお話いただきました。

他には、区の掲示板にいろんなアナウンスをしてはどうか、というご意見というものもあったと思います。

それから次に子育て教育グループに関してですが、ここについても非常に多面的なご意見が見られました。跡地の利用ということですね、これは非常に大きなテーマだと思いますが、やはりそこでも地域コミュニティでどのように活用していくのかってということも、やはりきちんと考えましょう、ということだと思います。

避難所という形にする、であるとかあるいは子どもたちだけでいけるような場所が少ないので、そうした場所として、居場所づくりとして跡地を活用するということも考えてはどうかという、そのようなご意見が非常に大きかったのでは、と思います。

特に子どもに関しては不登校ですね、大阪は全国よりも不登校が多く、またその中でも西区が不登校の児童生徒が多いということが言われていますけれども、そういった中でサポートルームを設置するというについて非常に評価が高いようです。

参加している生徒たち、子どもたちは楽しくやっているようですが、その一方で参加しているのは不登校の生徒の全体からすると 10%程度ということでした。どういうふうにアプローチするのか、来ていない、来てくれていない、いろんな状況というのは子どもたちにあるとは思いますが、アウトリーチをどういうふうにかけていって、なるべく繋いでいくのかということやはり相変わらず課題なのかなというふうには思いました。

それから最後、広報・窓口・ICTですが、こちらも私もちょうどその場にいたのですが、非常に「なにわコール」の評価が高かったということで、これをもうちょっと利用すべきだというようなお話がありました。

つまりこれは人によって違うわけですが、窓口で対応できる部分はしっかりやって、窓口以外でできるもの、電話の方がSNSよりも早い、という人にも対応できるような形で考えると、「なにわコール」のサービスが非常に良いという評価があり、もっと活用してはどうかという話でした。

それから最近の西区のショート動画に関しては、これは私もうちの学生たちも、いろいろチェックして見ていますが、そのクオリティはこの班の中でも非常に高かったようで、どんどんスキルアップしているというようなこともお聞きしました。その中で、例えば区役所のサービスの動画というものをその中に挟んでいたりして、少しずつそういう情報も入れていくような形で工夫ができたらいいのではという話がありました。全体としては、ショート動画の評価が高いなと思いました。

最後に少し話題が出ましたが、西区のキャラクター「にっしー」の引退という、そういう大きなテーマが出てきました。いろいろなご意見があるかと思いますが、新しいキャラクターというのも、良いかな、というふうには思いました。

今回は前回の会議と違い、1つのテーマではなくそれぞれの班で、各テーマでご議論いただき、様々なご意見が出てきたと思います。非常に具体的な提案もいくつか出ていたと思いますし、そういう意味では区役所はこうした議論というものを踏まえていただいて区政の改善に、また改めて取り組んでいただきたいというふうに思います。

まだご意見がおありかと思いますが、時間もありますので、その他報告事項として令和6年度第1回の教育会議について区役所から報告をお願いします。

(玉置教育担当課長)

失礼いたします。

教育担当課長玉置と申します。

皆様お疲れのことと存じますけれども、この資料 3 につきまして簡単にご報告をさせていただきます。

資料 3 の裏面、目次の 1 から 5 をご覧ください。

まず 1 ですが、10 月に実施したこの会議におきまして取り組みの進捗報告をいたしました。今年度も連携可能な企業開拓をいたしまして、学校への出前授業等を積極的に行っているところです。

2 でございますが、堀江小学校西学舎あるいは中之島小中一貫校の開設を行いまして、生徒の急増対策という観点におきましては一定のめどが立った状況でございます。

3 についてでございますけれども、令和 11 年度の九条地域の小学校の円滑な統合に向けまして、関係する地域の代表等の皆様にメンバーに入っていたいただいた会議を適宜開催しているところでございます。

4 でございますが、外国籍児童生徒がコロナ禍終息以降急増しているというふうな状況がございまして、今年度は川野議長にお願いをいたしまして、本日出席の研究室の留学生の方に学校訪問をしていただいている状況でございます。

5 についてでございますが、新規事業ということで堀江中学校をモデル校とした校内サポートルームの開設や保護者を孤立化させないためのワークショップの開催、あるいは保護者、住民の皆様を対象とした子育て講演会を開催しているところでございます。

本日もお話がありましたが、参加者を増やすための周知方法につきましてこの会議では委員の皆様にご意見をお伺いするという時間を設けたところでございます。

その他でございますが、9 月に開催された市長と教育長による第 1 回的大阪市総合教育会議につきましても簡単に報告をしたところでございます。

この教育会議の委員の皆様からの主なご意見といたしましては、不登校のワークショップ、子育て講演会の参加者を増やしていくために保護者に対してだけではなくて児童生徒へアプローチしていくことですか、外国籍の子どもが増えているというふうなところで、ボランティア募集をしておりますけれども、それにつきましては、西区役所のホームページだけではなくて、もっと具体的に目に触れてもらう形での広報の工夫をしてはどうか等のご意見を頂戴したところでございます。私の方からは以上でございます。

(川野議長)

ただいまの報告につきまして何かご質問、ご意見などございませんでしょうか。

はいではそろそろお時間も参ってございますので議事報告については終了したいと思います。ありがとうございます。

(澤田事業調整担当課長)

川野議長、議事進行ありがとうございました。

本日は活発な意見交換と議事進行にご協力をいただき、ありがとうございました。
まだまだご意見を伺って参りたいところではございますが、そろそろ時間が参ってございます。

それでは最後に三村区長からご挨拶申し上げます。

(三村区長)

区長の三村です。

本日活発にご議論いただきまして本当にありがとうございました。

各グループを回らせていただきました。皆様真剣にご議論いただきましたこと本当に感謝申し上げます。やはり地元にお住まいの皆様方の意見は大変貴重だ、というふうに改めて感じたところでございます。

そこで私の方からも、議論に参加していないことも踏まえ何点かのお話、個別の話と全体的な話をさせていただきたい、というふうに思います。

まず地域コミュニティグループでの全地域合同防災訓練についての議論について、「すごかった」ということでご評価いただけたことは本当にありがたかったと思っております。これを実施するにあたっては準備も相当の期間をかけて行ったのですが、内容は各地域で避難所の立ち上げが1点と、もう1点はこの会議室を使った災害対策本部の立ち上げでした。

第2部は松島球場でいろんな体験型のブースを出展いただき、中でも起震車のような大きな車も含め15台ぐらい出してもらって、実際にいろんな体験をしてもらうイベントでした。

これまでと違い、この災害対策本部で実施した企画はまさに実際の震災が起こった場合を想定しながら実施したもので、見学の方も80人ぐらい、また他の自治体も5、6自治体から視察に来られたということでした。非常によかったという評価をいただいたので、来年また実施したいと思っております。

来年はこの災害対策本部に医師会とか警察・消防、自衛隊にも来てもらって、災害が起こった場合、どういうふうに避難所に我々が助けの手を伸ばしていくのか、ということを実体的に検討していきたいと思っております。

それからしくバルですが、ご協力本当にありがとうございました。若干子どもが少ないという話をお伺いしたのですが、会場の真ん中に「いのちの塔」と名付けたヤシの木を設け、そこに手形を押すボードを作りました。それで2,500人の皆さんに手形を押してもらっています。その内半分だったとしても1,000人以上は子どもに来てもらっていた、という状況だったのではと思っています。来年の万博企画については、来場促進ということでしくバルとはまた少し違った形の大きな野外イベントという企画を考えております。これもまた皆さんもぜひ一体となってお協力いただき、楽しんでいただければありがたいと思います。

次に地域コミュニティグループと福祉健康グループでの「見守り」についての議論についてですが、共通するのは地域の繋がりをどのように作るか、ということが重要なのではと思っています。

例えると、これを私はよく言うのですが、「数字じゃなく名前」と、そういう社会にしたい

と思っています。どういうことかと言うと、「西船場小学校の1年生が事故をしてけがした」という情報と、「西船場小学校1年4組の誰々先生のクラスの誰々ちゃんがけがをした」と、こう言われたときに皆さんの感じる度合いがどうなのかなと。最初の報道発表のような情報は、おそらく言ってみれば他人事みたいになるのでしょうか、「誰々ちゃんがけがをした」となると急に身近な問題として捉えざるをえない、ということになっていくと。ですからそういう社会を目指したいと。そのためには、やはり様々なイベントを行い、そのイベントに皆さんが出てきてくれて、その場で繋がり合う、話し合うといった繋がりができ、また繋がりを太く重ねていくことによって、社会ができていく、環境ができていくのではないのかなと、こう思っています。したがって、人が繋がることのできるイベントや機会を増やしていかないといけない、と思っています。それをベースに、様々なことを地域コミュニティで考えていかないといけないのでは、と思っていますところ。

あと教育についてですが、以前にお話したことがあるかもしれませんが、やはりまちの魅力を上げるにあたって、やはり子どもが安心してしっかり成長できることは非常に重要なことであり、教育には特に力を入れないといけない、と考えています。

先ほどから不登校の話がずっと出ていますが、これ本当に大阪市の中でも西区は不登校率が高い状況です。以前も申し上げましたが、中学校は15%ぐらいの比率で不登校ですので、40人クラスで6人の子どもが不登校の計算となります。皆さんが中学生のころ40人クラス位だったと思うのですが、6人も教室にいないという事を想像してください。いくら冬場に風邪をひいたと言っても、6人がいなくなることはそうはないと思います。そういう状態が起こっています。これがどんどん拡大しているという状況にあるので、止めないといけない、何か手を打たなければということで、玉置課長初め教育ラインが今一生懸命取り組んでいるところです。取り組みを拡大して欲しいというような最初のご意見もありましたので、これは拡大の方向で考えていきたいと思っています。

子どもの不登校対策に対しては学校に戻すというのも当然1つのやり方なのですが、学校以外の居場所も子どもに見つけてもらえるような、またみんなで相談しながらこういう場所もあるよ、と伝えられるような、そんな人を配置して、この不登校対策に備えていきたいと思っています。来年度拡充するつもりでおりますので、また来年度予算をご提示するときに皆様にご確認いただければと思います。

それと冒頭のご意見でもあったのですが、子どもの話を聞けるような場を作って欲しいということ、やはり実現に向けて考えていきたいというふうに思っています。

子どもたちが、自分たちで考えて自分たちが必要だと思うことができるような、そんな企画を考えていきたいと。これはまだ構想段階ですが、考えていきたいなと思っています。これもまた次回お知らせできればと思います。

それから広報ですが、区長ページのSNSを見ていただいて皆さんどういうふうに感じていただいているのか。私としては区長自体が、おそらく11万人の区民からすると本当にいるのかどうかかわからないとか、どこにいるかわからない、どんな顔をしているのか、どん

な声をしているのかもわからない、おそらくそういう存在だと思います。こういう人なので、というのをまず知って欲しいと。というようなことで SNS を使って打ち出していますので、それにプラスして地域の活動、さっきから「地域が何やっているかわからない」といった話もあったので、地域活動をこういう感じで始め、こんなことをやってくれているのですよといったこと、かつ、楽しいですということもお伝えしたいなと思っています。

あわせて、地域と区役所がしっかり繋がっていると、そう見て、感じていただけていただけるのではないかなと思います。そういう観点で動画を上げていることを踏まえながら、ぜひ見ていただきたいなあと。それで「うちも取り上げて欲しい」みたいな話があれば、ぜひまたお声掛けをいただければと思っています。前にも申し上げましたが、この SNS の活用はリアルでは会えない方々と、やはり何らかの繋がりを作りたいということで活用しているもので、ぜひご理解いただけたら嬉しいと思っています。

それと SNS 繋がりで宣伝もお願いしたいのですが、先ほどからの議論で SNS のフォロワーが少なすぎるとか、利用者が少なすぎるといったお声もあったのですが、広げる方策としてハッシュタグの投稿を募集しています。宣伝も兼ねましたが、そういった形で全体感としては今申し上げたようなざっくりとした話ですが、そういう方向感と、あと具体策についてはまた次回の区政会議でお示しできるかと思いますが、今申し上げた点を考えているということです。

引き続き、皆様には本当にいろんなご意見を頂戴していますが、施策へのご協力をまた改めてお願いできるというふうに思っています。よろしくお願いします。

（澤田事業調整担当課長）

今日は大変長時間になりましたが、ご議論本当にありがとうございました。

本日の会議の内容は、西区のホームページで後日公開いたしますので、ご了解願います。

次回の日程は、以前にもお伝えしておりますとおり、1月30日の木曜日を予定しております。

また日程が近づきましたら改めてご案内いたします。

これをもちまして、令和6年度第2回西区区政会議を終了いたします長時間ありがとうございました。